

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	みずほ証券 本店および全国各支店・営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)	みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジ除く)
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご 注 意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵送物送付先・ 電話お問い合わせ先・各種手続お 取扱店をご利用ください。	

公告方法 電子公告 (<http://www.sinanengroup.co.jp/ir/contact.html>) ただし、やむを得ない事由によって、
電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

会社概要 平成28年9月30日現在

● 会社概要

商 号 / シナネンホールディングス株式会社
本店所在地 / 東京都港区海岸一丁目4番22号
創 業 / 1927年4月11日
設 立 / 1934年4月25日
資 本 金 / 156億3,000万円
従 業 員 / 1,466名(連結) 56名(単体)

● 取締役

代 表 取 締 役 社 長 崎 村 忠 士
常 務 取 締 役 清 水 直 樹
常 務 取 締 役 夢 野 裕 之
取 締 役 田 中 正 人
社外取締役(監査等委員)(常勤) 山 崎 正 毅
社外取締役(監査等委員) 重 森 豊
社外取締役(監査等委員) 篠 連

● シナネンネットワーク

シナネンホールディングス株式会社
〒105-8525 東京都港区海岸一丁目4番22号 03-5470-7100
ミライフ西日本株式会社
〒547-0004 大阪府大阪市平野区加美鞍作3-6-14 06-6794-4711
ミライフ株式会社
〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-3 オリナスタワー 16階 03-5637-8450
ミライフ東日本株式会社
〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町4-7-30 022-239-5712
日高都市ガス株式会社
〒350-1233 埼玉県日高市下鹿山473 042-989-4041
シナネン株式会社
〒105-8525 東京都港区海岸一丁目4番22号 03-5470-7327
シナネンサイクル株式会社
〒105-8525 東京都港区海岸一丁目4番22号 03-5470-7121
品川開発株式会社
〒105-0012 東京都港区芝大門1-3-8 アトラス芝大門ビル2階 03-5425-4631
株式会社シナネンゼオミック
〒455-0051 愛知県名古屋市中川区中川本町1-1 052-653-3201
株式会社ミノス
〒105-0022 東京都港区海岸2-2-6 プレミア海岸ビル5階 03-6436-3871

シナネンホールディングス株式会社

〒105-8525 東京都港区海岸一丁目4番22号
Tel: 03(5470)7100 Fax: 03(5470)7140



地球環境に配慮した
大豆油インキを使用しています



SINANEN

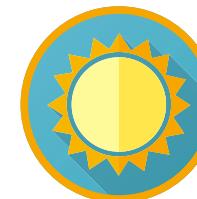
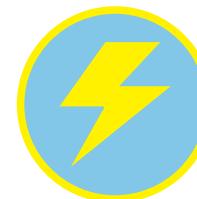
証券コード:8132

Challenging Spirits for Frontier.

第83期 株主通信

2016.4.1 ~ 2016.9.30

特集：シナネン株式会社 エネルギーソリューション部のご紹介





株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの中間期(平成28年4月～9月)業績ならびに事業活動等についてご報告いたします。

代表取締役社長 崎村忠士

✓ 当期のポイント

1

電源開発事業は順調に推移

2

船舶向け重油販売数量は増加も、円高や価格競争により、売上高及び売上総利益以下の利益は減少

3

LPガス容器等の購入増や、新規システムの開発にかかる投資が先行するなど経費が増加

経営環境について

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府や日本銀行の各種政策推進の効果は一部で見られるものの、企業収益の改善及び消費者マインドは足踏みしています。また、中国や産油国など海外景気の下振れや、イギリスのEU離脱といった海外情勢への不安から円高・株安など、景気を下押しするリスクもあり、先行き不透明な状況が続いています。

国内エネルギー業界においては、原油価格の下落は前年度に底を打ち、緩やかな上昇傾向にあります。また、定着した節約志向の影響は大きく、家庭向け需要は減少しました。

取り組みについて

このような環境の中、当社は、中期経営計画「第三の創業2016」の最終年度となる当期において、株主総会での承認を経て監査等委員会設置会社へと移行し、平成27年4月よりすすめてきたグループ運営体制の改革が完了しました。これにより体制変更の目的である「事業会社の自立と成長」と「コア事業の強化」をさらに推進し、各事業会社の成長領域への経営資源の配分を進めました。

『エネルギー卸・小売周辺事業(BtoC事業)』においては、前期に引き続き小売顧客の拡大に取り組み、事業基盤の強化を図りました。また、問い合わせ情報の一元管理及効率的なアフターサービス提供のためコールセンターの設置を推進しました。

さらに、店舗の再編、同業他社との物流提携によるコスト低減を進めました。また、顧客に選ばれる総合エネルギーサービス企業として家庭向け電力販売事業を推進しました。

『エネルギーソリューション事業(BtoB事業)』においては、シナノン株式会社は、法人向け電力販売事業では、官公庁や学校施設への電力供給を引き続き推進し、長野県の公共施設へ新たに電力供給を開始しました。また、再生可能エネルギーの電源開発にも注力し、福島県に天栄村ソーラーパークを開所しました。省エネソリューション事業では、太陽光発電所の分譲販売に加えて、工場排水のコスト低減やESCO方式によるソリューション提案の取り組みを強化しました。

『非エネルギー及び海外事業』においては、自転車事業のシナノンサイクル株式会社は、小売チェーン「ダイシャリン」の関東圏での販売網強化に取り組みました。また、アニメキャラクターのチャギントンや、新幹線のはやぶさ、ドクターイエローなどをデザインした子供向けオリジナル自転車を開発しました。

リサイクル事業の品川開発株式会社は、東京都江東区の総合産業廃棄物処理施設稼働により、従来の木質系廃棄物から取扱品目が大幅に増加しました。また、新たな廃棄物処理ネットワークの構築を進めました。

抗菌事業の株式会社シナノンゼオミックは、需要が拡大している飲料水分野で高性能な抗菌材料を開発しました。また、将来の欧州展開に向け化粧品用途での認可作業に着手しました。

システム事業の株式会社ミノスは、電力自由化に対応する顧客管理システム(電力CIS)をリリースし、取引先とその顧客件数を計画通り増やしています。

業績について

当第2四半期連結累計期間の業績については、電源開発事業は順調に推移しましたが、家庭用LPガスにおいて節約等による需要減少に伴い販売数量が減少したこと、船舶向け重油販売において販売数量は増加したものの円高や海運市況の低迷により価格競争が激化したことなどから、売上高及び

売上総利益以下の利益は減少しました。また、LPガス容器等の購入増や、新規システムの開発にかかる投資が先行するなど経費が増加しました。

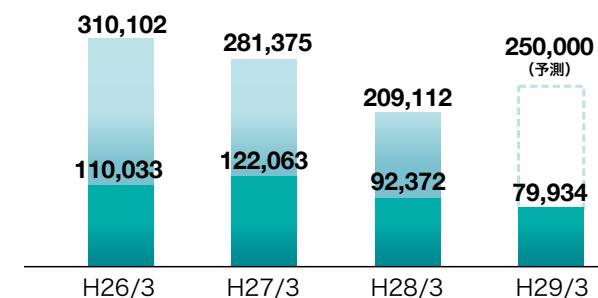
以上の結果、売上高は799億円(前年同期比13.5%減)、営業利益は1.3億円(前年同期比90.7%減)、経常利益は2.7億円(前年同期比83.4%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は遊休地売却による特別利益を計上するなどしたため3.9億円(前年同期比47.1%減)となりました。

なお、前年同期の売上総利益以下には、LPガスボンベの軒下在庫数量に係る見積り算定方法の変更の影響額7.2億円が含まれています。

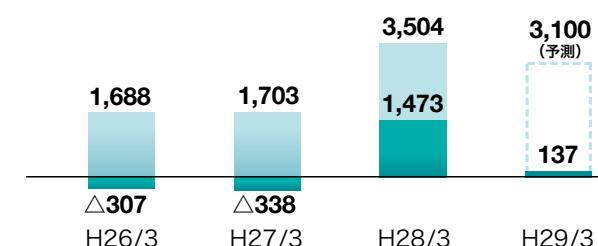
当第2四半期の決算は前期を下回って推移しましたが、LPガス小売顧客の拡大、拠点・物流の統廃合等によるコスト削減を推進し、通期での利益計画達成を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高(単位:百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



営業利益(単位:百万円) ■ 第2四半期 ■ 通期



シナネン株式会社は、2015年10月の純粋持株会社シナネンホールディングス体制移行に伴い、旧シナネン株式会社のソリューション事業本部を母体として誕生しました。

石油・ガスの販売に加えて、電力販売や省エネ・節電のソリューション提案などの新たなビジネスを展開して「環境にやさしい総合エネルギー企業」を目指しています。

エネルギーソリューション部 概要

略歴

2012年 4月 前身となる次世代エネルギー推進室を3名で事業立ち上げ

2013年 4月 エネルギーソリューション部に昇格

6月 特定規模電気事業者登録

9月 BEMSサービス開始

2014年 2月 電力小売事業開始

9月 太陽光発電事業開始(メガソーラー発電所)

2015年 4月 エネルギーソリューション部から
電力供給部・電力販売部が独立

12月 小売電気事業者登録

2016年 4月 「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」に
係るエネマネ事業者(エネマネ事業者登録)

10月末 エネルギーソリューション部 19名体制 現在に至る



ポイント

多彩なエネルギーを組み合わせることで供給し、お客様のエネルギーコストを低減。

これまでも取り扱ってきた石油・ガスの供給に加えて、電気の供給も行い、ビジネスに不可欠なエネルギーをお客様の使用状況に合った最適な構成で提案しています。

独自の省エネ・節電等の提案でエネルギーの消費量を低減。

需要家に最適なエネルギーを供給するだけでなく、初期投資を抑えた独自のEMSや、工作機械の動力となるモーターの負荷軽減、下水道料金の減免など、シナネン独自の省エネ・節電サービスや設備改善工事によりエネルギー消費量を低減する提案をしています。

再生可能エネルギーの活用により環境負荷を軽減。

シナネンでは、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーを電源として積極的に活用しています。様々なエネルギーを組み合わせることで供給する中で、温室効果ガスを排出しないエネルギーの割合を増やし、環境負荷の軽減に貢献します。

今後の展開

COP21で採択された世界的な温室効果ガス削減の方針「パリ協定」に象徴されるように、エネルギーの「大量供給・大量消費」の時代は終わりを迎えます。

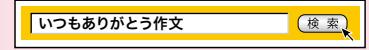
今後のシナネングループは「総合エネルギーサービス企業」として、バイオマス燃料や省エネ・節電サービスをさらに充実させ、「環境に優しいエネルギーを賢く使う」サービスを提供する企業となるべく邁進してまいります。

シナネングループは、子どもたちの健やかな成長を応援する「いつもありがとう」作文コンクールを共催しています

シナネングループでは、子どもたちの健やかな成長を応援することを目的として、「いつもありがとう」作文コンクールを共催しています。

記念すべき10回目となる今年のコンクールには、過去最高となる39,938通もの作品が集まりました。株主の皆様への感謝の気持ちを込めて、作品集を同封しています。心揺さぶる多くの作品の中から選出された、よりすぐりの作品集となっています。どうぞ一読ください。

表彰式の様子や過去の受賞作品は「作文コンクールスペシャルサイト」でご覧いただけます。



前回表彰式の様子



同封の作品集をご覧ください。

「いつもありがとう」作文コンクール
主催：朝日学生新聞社
共催：シナネングループ
後援：文部科学省・朝日新聞社

株主アンケート

アンケート実施期間 2016年12月16日(金)まで

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様への情報開示の充実に努め、当社の経営をより一層ご理解いただけるIR活動を行っていきたくと考えています。つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、右記アンケートサイトにアクセスいただき、アンケートにご協力いただきますようお願い申し上げます。

このアンケートは、諸費用(郵便料金など)の削減と集計作業の迅速化を目的として、株式会社アイ・アール ジャパン(IR支援会社)が運営するWebアンケートシステム「株主ひろば」を利用して実施しています。



【ご回答の操作方法等のお問い合わせ先】
株式会社アイ・アール ジャパン
株主ひろば事務局
E-mail: inquiry@kabuhiro.jp

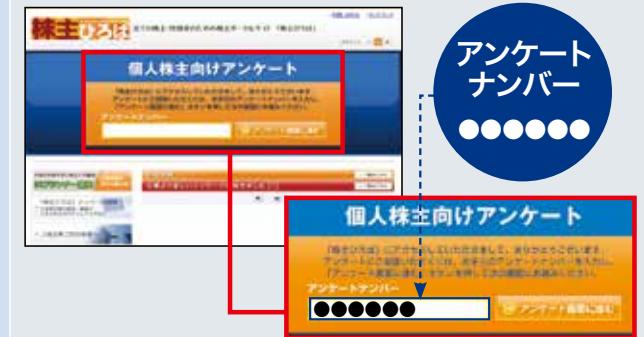
アンケートサイト(画面)への接続方法

Yahoo!やGoogleなどの検索エンジンからアンケートサイトを呼び出してください。

株主ひろば 検索 URL <http://kabuhiro.jp>

ご回答方法

アンケートサイト(<http://kabuhiro.jp>)画面中央の入力ボックスに、アンケートナンバーを入力して回答画面にお進みください。



アンケート
ナンバー

単元株式数の変更、株式併合についてのご案内

当社は2016年10月1日をもって単元株式数を1,000株から100株に変更しました。また、単元株式数の変更に合わせて5株を1株に併合しました。

株主の皆様がご所有の当社株式数は10月1日をもって5分の1になりましたが、1株当たりの資産価値は5倍となりましたので、株式市況の変動等の要因を別にすれば、ご所有の当社株式の資産価値に影響はありません。併合前後の株価を見ましても、ほぼ併合比率に則した値動きを示しております。

なお、配当予想につきましても、併合比率と同様に1株当たり15円から1株当たり75円へと変更しております。

1株未満の端数が生じる場合

①株式併合に伴い1株未満の端数が生じた場合は、会社法の定めに基づき一括して売却、あるいは当社が自己株式として買い取り、それらの代金を端数の生じた株主様に対して、端数の割合に応じて分配します。

②なお2016年9月末時点で、ご所有の株式数が5株未満の株主様は、株式併合によりすべてのご所有株式が端数株式となり、当社株式の保有機会を失うことになります。

※端数株式処分代金のお支払いは2016年12月上旬を予定しています。

2017年度
カレンダー
プレゼント



世界中の子どもたちの絵が
カレンダーになりました

今年も世界の子どもたちが描いた絵を使用したオリジナルカレンダーが完成しました。絵の使用料はNPO法人「子供地球基金」に寄付され、戦争や災害で心に傷を負った世界中の子どもたちに、絵本や画材、医療品を寄贈するため等に使われています。

【プレゼント概要】

株主アンケートにご回答いただいた方から抽選で50名様にプレゼントいたします。

株主アンケートへのご回答方法等は上記をご覧ください。



機能性も取り入れた使いやすいカレンダーです。「人とのつながり」をテーマにした色彩豊かな絵画を季節に合わせてお楽しみください。